

令和 7 年度 重点方針

令和 7 年度重点方針は、第 6 次宝塚市総合計画を効果的・効率的に推進するために、今後の市の施策展開の方針を示すものです。この重点方針をもとに各部局が戦略計画を策定し、実施計画や予算に反映していきます。

1 第 6 次宝塚市総合計画に掲げるスローガン

わたしの舞台は たからづか

2 第 6 次宝塚市総合計画に掲げる 5 つの重点方針

- (1) 市民の力が発揮されるまちづくり
- (2) 時代にふさわしい行財政経営
- (3) 心がつながり、健康と安心を実感できるまちづくり
- (4) 子どもがいきいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり
- (5) 活力あふれる、創造性豊かなまちづくり

3 令和 7 年度の重点方針

本市の財政は、最新の財政見通しにおいて、令和 6 年度から 15 年度までの 10 年間で約 112.8 億円の収支不足が見込まれるという非常に厳しい状況となっています。

このため、持続可能な財政運営に向けて、一般財源ベースで令和 7 年度に 10 億円、令和 8 年度に 7 億円、令和 9 年度に 7 億円の収支改善の目安額を示しており、現在、全庁あげて事務事業見直しを行っているところです。

このような大変厳しい状況を踏まえ、令和 7 年度は行財政経営方針に基づく取組を更に力強く進めることにより、少子高齢化の進行や社会経済情勢の変化に的確に対応し、第 6 次宝塚市総合計画の実現に向けた施策を推進していきます。

令和 7 年度の施策推進にあたっての重点方針は、市民の皆様からいただくご意見やご要望、社会情勢、現状と課題等を踏まえ、以下の 3 点とします。

- (1) 子どもと子育て世代にやさしいまち
子どもが多様な体験や学びにより、夢や希望を持っていきいきと育つ環境づくり、家庭・学校・地域の中で子どもの「生きる力」が育まれる環境づくり、安心して子どもを産み育てることができる環境づくり、子育てと仕事の両立に向けた環境づくりを、子どもや女性の視点を生かしながらハード・ソフトの両面から進め、子どもと子育て世代にやさしいまちづくりを推進します。
- (2) 誰もがずっと住み続けたいと感じるまち
緑豊かな本市の良好な住環境を更に充実させるとともに、社会が大きく変化
する中であっても、年齢や性別に関わらず、すべての人が自分らしくいきいき

と暮らし、地域社会に参画し支え合う、誰もがずっと住み続けたいと感じるまちづくりを推進します。

(3) 宝塚らしいにぎわいと活力にあふれるまち

多様な主体との連携のもと、本市が有する様々な魅力を市内外へ力強く発信するとともに、多くの人々がこのまちに集い楽しめるよう魅力を更に高め、地域経済の活性化を図ることにより、「文化芸術、歴史に親しめるまち」や「女性が活動・活躍しやすい環境が育まれてきたまち」といった宝塚らしいにぎわいと活力にあふれるまちづくりを推進します。

4 令和7年度の事業に取り入れる視点

経営資源に限られる中、持続可能なまちづくりを着実に推進していくため、令和7年度は以下の4つの視点を持って事業を進めることを基本とします。

- (1) 広報の強化による情報や課題、めざす方向性や目標等の共有
- (2) 市民・事業者等との協働・共創
- (3) 事業の見直し、業務の効率化、デジタル化など、更なる変革の推進
- (4) 新たな財源の確保、国・県の補助金等の最大限の活用

これからのまちづくりを進めるうえで重要な視点は、市民・事業者等との「協働・共創」ですが、その前提として求められるのは、効果的な広報による情報や課題、めざす方向性や目標等の共有です。本年1月に策定した宝塚市広報基本戦略に示している「市民にきく」、「職員がつながる」、「市民に伝わる」ための取組を実践するとともに、市民、地域、企業等との様々なつながりを生かすことにより、「協働・共創」の取組の拡充を図っていきます。

また、令和7年度においても、更なる事務事業の見直しや歳入確保策の実施等による収支改善、デジタル化を含む業務変革の推進による効果的な事業展開に鋭意取り組みます。

令和7年度（2025年度）各部局戦略計画

部局名： ○○部

部局長名： ○○ ○○

1 各部局の目指すべき姿と方針

・1ページに収まるように記載して下さい。

○○のまちづくりの実現に向けて、○○を○○するため、情報発信の強化、○○の環境づくり、○○等を実施します。

部局としてどんなまちを目指していくのかを記載してください。（総合計画の施策分野のめざすまちの姿を意識して、そのためにどのような方針を取るのかを記載）

2 重点施策と具体取組

1	○○の情報発信の強化に向けて、○○、○○等の○○を実施します ・○○について、○○などの媒体でさらなる周知を図ります。 ・○○する仕組みを構築し、市民への情報発信の強化を図ります。	重点施策 具体取組
2	<重点施策について> ・令和7年度重点方針をもとに、各部局において優先順位の高いものを最大5つ記載してください。 ・総合計画の施策をそのまま記載するのではなく、より具体的に令和7年度の内容を記載してください。 ・どのような目的で取り組むのか(各部局の目指すべき姿にどうつながるのか)がわかるように記載してください。 <具体取組について> ・具体取組は、見出しに「・」と付して箇条書きしてください。 ・既存事業、新規拡充事業も含めて、各重点取組を代表する具体取組を記載して下さい。 ・なお、通知文にも記載の通り、財政状況に鑑みると、令和7年度は、新規拡充事業の採択は難しい状況です。真に必要な、効果のある事業であると部局長が認めるもののみ要求を認めることとします。 ※各欄においての注意点 ・「です・ます」調で記載してください。	
3		
4		
5		

2024.08.01

宝塚市行財政経営戦略本部会議資料

令和7年度 重点方針と予算編成等について

企画経営部 企画政策課

(1) 「令和7年度 重点方針」の策定

人口減少や少子高齢化など社会環境の変化に的確に対応し、第6次宝塚市総合計画を効果的・効率的に推進していくため、令和7年度の重点方針を策定する。

(2) 各部局戦略計画の作成と市長・副市長との意見交換

上記の方針を踏まえ、各部局は令和7年度の戦略計画を作成し、市長・副市長との意見交換を経て、内容をまとめ上げる。

(3) 部局長によるマネジメントの徹底

戦略計画は、各部局長が経営者の視点を持ち、行政評価の結果や上記の意見交換等を踏まえ、今後の施策展開を見据えて取りまとめる。同計画には、各部局の重点施策、事業の更なる見直し、変革の考え方を明示する。令和7年度の新規拡充要求は、部局長が真に必要と判断する場合に限り、スクラップ&ビルドを行うことを条件として認めることとする。

「令和7年度 重点方針」の概要

前 提

- ・ 本市の財政は、最新の財政見通しにおいて、令和6年度から15年度までの10年間で約112.8億円の収支不足が見込まれる非常に厳しい状況である。
- ・ 持続可能な財政運営に向けて、一般財源ベースで令和7年度に10億円、令和8年度に7億円、令和9年度に7億円の収支改善の目安額を示し、全庁をあげて事務事業見直しを行っているところである。
- ・ このような大変厳しい状況を踏まえ、令和7年度は行財政経営方針に基づく取組を更に力強く進めることにより、少子高齢化の進行や社会経済情勢の変化に的確に対応し、第6次宝塚市総合計画の実現に向けた施策を推進していく。

重点方針

子どもと子育て世代に
やさしいまち

誰もがずっと住み続け
たいと感じるまち

宝塚らしいにぎわいと
活力にあふれるまち

取り入れる視点

- (1) 広報の強化による情報や課題、めざす方向性や目標等の共有
- (2) 市民・事業者等との協働・共創
- (3) 事業の見直し、業務の効率化、デジタル化など、更なる変革の推進
- (4) 新たな財源の確保、国・県の補助金等の最大限の活用

①8月1日 行財政経営戦略本部会議にて、令和7年度 重点方針の内容、各部局戦略計画の作成、意見交換など、令和7年度の予算編成に向けた流れを説明。

②8月2日～8月15日 各部局戦略計画の作成（各部局）

③8月21日～ 各部局戦略計画についての意見交換（市長、副市長、各部局長）

- ・市長、副市長、各部局長（次長級も同席可）で、令和7年度の事業展開について意見交換を行う。
- ・総合計画、総合戦略の実現に向けて、各部局の目指すべき姿と方針、重点施策、事業の更なる見直し、変革の考え方等について議論のうえ、各部局戦略計画をまとめ上げる。

④9月上旬 予算編成方針の策定

- ・令和7年度 重点方針、各部局戦略計画等を踏まえ、令和7年度の予算編成方針を策定する。
- ・厳しい財政状況に鑑み、新規・拡充事業は部局長が真に実施する必要性があると判断したものに限る。

⑤9月～1月 予算編成、施政方針（市長、副市長、企画経営部、総務部）

- ・上記の①～④を踏まえ、令和7年度の予算編成を進めるとともに、施政方針を作成する。